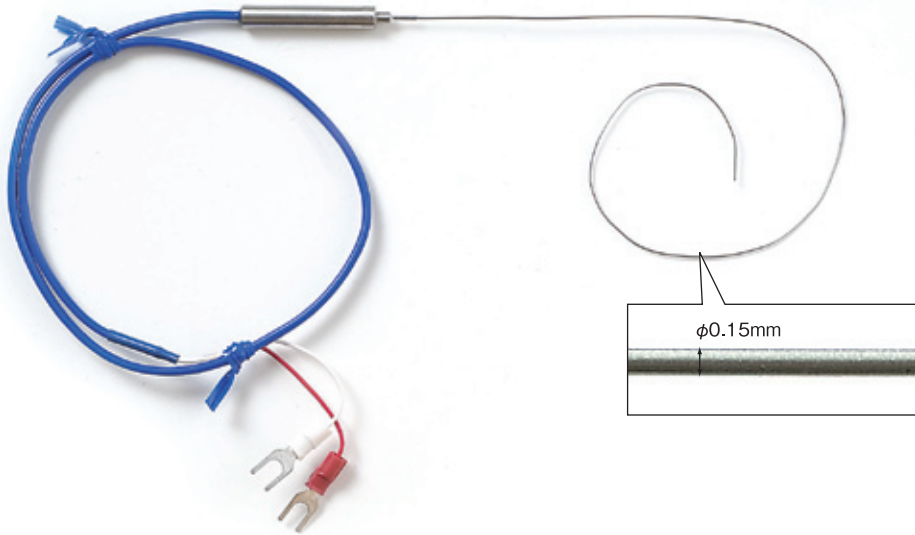


φ0.15超極細シース熱電対

熱電対の常識であるφ0.50mmを打破し、
φ0.15mm超極細熱電対を実現しました。



❖ 特長 1 極細シースなのに長さの制約がありません。

- ・ 接地型、非接地型(測温接点絶縁型)ともに長尺物が可能。

2 極細シースなのに高温で使用可能。

- ・ 高温耐久性が優れ、600°Cで3000hr連続使用での変化量は3°C。
- ・ 高温安定性が優れ、600°Cで1日10時間、述べ10日間使用で2°Cの変化。
- ・ シャントエラーの影響は許容値。

中間部の加熱温度が測定温度(測温接点温度)以内であれば許容差の範囲。

- ・ 短時間であれば1000°Cまで使用可能。

JIS規定範囲外となりますが1000°Cの耐久試験実施済。

3 新しい温度分野の温度測定を可能。

- ・ 精密金型やエンジンの表面温度・内部温度などの微小部分、極狭部分の温度測定、新素材の表面温度・温度分布、また高速応答性など従来測定が困難とされていた問題を解決。

❖ 仕様

サイズ	種別	タイプ	シース材質
φ0.50	極細	TYPE K	SUS316、インコネル600
		TYPE E	インコネル600
		TYPE J	SUS316
		TYPE T	SUS304
φ0.30	超極細	TYPE K	SUS316 インコネル600
φ0.25			SUS316 (SUS347)
φ0.20			
φ0.15			

❖ φ0.25mm熱電対のデータ

- 応答性 応答速度はφ0.25mmが
時定数(63.2%)25ms
- 精度 JISC1605クラス2(クラス1)
- 高温 使用温度600°C 3000hr
テストデータ有

φ0.15超極細
シース熱電対